

赤野井湾 再生プロジェクト通信



赤野井湾は、琵琶湖の南湖にある湾です。水質汚濁やアオコ、外来植物、ごみ問題などが課題になっています。その課題解決のため平成24年に「赤野井湾再生プロジェクト（以下：再生P）」が発足し、水質改善や生態系の回復を目指し活動しています。

湖底ごみ除去活動を実施しました！

秋晴れの令和6年11月16日に琵琶湖・赤野井湾の環境改善を目的に地元自治会・市民・漁協・企業・団体・行政など100名で湖底ごみ除去活動をしました。



ごみの集計
 総重量212kg
 可燃ごみ：22kg
 プラスチック：149kg
 缶・ビン：20kg
 布製品：11kg
 金属製品：6kg
 その他：4kg



赤野井湾の恵み



赤野井湾産ホンモロコ



シジミの生息調査をはじめました！

再生Pが発足し琵琶湖湖底ごみ除去活動によって赤野井湾に砂地が少しずつ戻ってきています。そのため、かつてよく獲れたといわれるシジミが、今の赤野井湾で生息・生育できるか確かめるため、実験調査を開始しました。



シジミを使った
水質実験実施中！



再生Pの活動紹介～ウォッチャー活動～

赤野井湾は、四季を通していろんな姿を見せてくれる一方で、外来水生植物やごみについては早期駆除・除去することが重要です。このことから再生Pで赤野井湾の定点の状況を監視し毎月市に報告しています。

湖岸に生えるオオバナミズキンバイ等の外来水生植物の駆除や、ポイ捨て・漂着ごみの回収をしています。



ウォッチャー活動報告書

赤野井湾のゴミってどこから？



市内8つの河川が注ぎ込む赤野井湾は散在性ごみが集まりやすい場所です。市内の不法投棄や、川に捨てられたごみが赤野井湾に流れていきます。

そのごみが赤野井湾に堆積し続けることで、湖底環境の悪化や、特にプラスチック系のごみについては長期間放置されると劣化してマイクロプラスチックになるなどの問題になっています。

赤野井湾流域流出水対策推進連絡会に出席しました



令和7年1月30日玉津会館で「赤野井湾流域流出水対策推進連絡会(事務局：滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課)」が開催されました。これは「湖沼水質保全特別措置法」に基づき、赤野井湾流域の汚濁負荷削減に向けた取り組みや環境保全に関する連絡会です。

再生Pをはじめ流域内での水の利用に係る団体が赤野井湾の環境改善について情報共有を行いました。

再生Pからのメッセージ

このプロジェクトが発足して13年が経ちました。皆様のご協力で赤野井湾の水環境は少しずつですが改善してきています。これからも人にも魚にも貝にも優しい、かつての豊かな水域になるよう活動して参ります。皆様のご参加ご協力をお願い申し上げます。

編集・発行：赤野井湾再生プロジェクト

(事務局：夢・びわ湖 問い合わせ先：守山市環境政策課 (☎077-584-4691))

琵琶湖の中で一番水質汚濁が進んだ水域となった赤野井湾の環境改善を「市民全体の課題」と位置付け、環境団体、地域住民、漁業関係者等が連携を深め、活動を実施するとともに、国や県等へ積極的に提案活動を行うことを目的として平成24年に発足しました。